

午後3時、座っていたジイチャンが立てない、左半身に力が入らない、何か、一生懸命言っているのに、ア・ワ・ワ・と言葉にならない。救急車呼んで、小野田市民病院の救急センターへ・・・毎度。早速、血流れ良くする薬、血栓を溶かす薬の点滴。

少し落ち着いて、パピポペポ、ラリルレロは何とか言える。左足上げて、左手上げて、手を握って・・・も、少し力は弱いけど、何とか出来る。病室が開いてなくて、取り敢えず、家に連れて帰る、ベッドから起きて、何とか車まで歩いて行けた(今から思うと不思議・・・)

ところが家で、夕食をとろうと、食卓に座ったけど、どうも様子がおかしい、水を飲ますと、ジュルジュルと口から溢れ出る、無理して飲ますと・・・飲み込めず、ゲボゲボ・

ゴッホゴッホ、多分気管に入っているのだと気が付き、大慌て。寝てもらうことにしたのだけど、これからが大変、「シッコにいく・・・」と言うけど、立てない。しょうがないので半分背負ってトイレに連れて行く、骨太・大男のジイ、介護大変。小便器の前に立つのだけど、左に傾いてなかなか出来ない、トイレの床シッコだらけ。次からは腰掛便器に座らせてシッコ。

ジイの部屋に一晚、一緒に寝てあげたけど、とうとう一晚中寝られない。

何とか水分を・と先生に言われていたので、朝、起きる前に、コップ半分の水をゆっくり・何とか飲んでもらった。昨夜から何も食べていないので、バアがお粥を作ってスプーンで口に入れるけどなかなか飲み込めない。

車に乗せて病院に連れて行く、車に乗せるのも大仕事。玄関からは車椅子を借りて運ぶ、妹も一緒だったので助かった。病院休みなので、救急センターで治療、先生の問い掛けに、頭はしっかりしているのか、ちゃんと答えられるのだけど、はっきり口で言えない、昨夜から全然食べなくて無く、水もやっとコップ半分位しか飲んでいないので、早速点滴開始。

MRI撮影・動くので、いい写真が取れない、CT写真で取り直し・はつきりした脳の原因場所は特定出来ない。早速、観察病室に入れられ24時間看護。妹と交替で付いてあげた、16時から僕の番だったけど、これが超大変・例によって、点滴の針を引き抜こうとする、「シッコに行く・」と言って、ベッドから降りようとする、「家に帰らんとイカン・」と言って、ベッドから降りようとする、シッコと言うから尿瓶を添えるけど出ない、しょうがないのでとうとうオシメ、オシメを嫌がって（当然だ・）とうとう、お漏らし。

シッコの時はナースボタンを押せば看護婦さんが来てくれるようになっていたのだけど、ジイにとってみればまず「トイレと行く」という頭

しかないので、ボタンは全然意味が無い。看護婦さんが、消灯時間の9時までいてくれというので、とうとう6時間大格闘。夜中、痰がツカエて、大分咳き込んだみたい。

09／01

9時から病院、ジイは、グースカ寝ている、昨夜の大格闘に比べて、大助かり、チンコの穴からチューブ突っ込んで膀胱から直接採尿しているので、昨夜の様に「シッコに行って来る・・・」と言ってベッドから降りようとするのは無くなって、少しは助かるが、ジイ可哀想。

11時、看護婦さんが、下半身の大掃除、口の中も大掃除・・・気持ち良くなったよ。そのせいか又もや、グースカ・・・とうとう夕方4時まで熟睡、時々「家に帰らんと・・・」と言って起き上がろうとするのを、なだめるのが大変。

痰が溜まり、苦しそう。痰を採るのは、鼻から細いチューブ突っ込んで、喉の痰を採る、鼻がムズカって苦しそう、見ている僕も思わず鼻が痛くなる。夕方から、痰が溜まらない様に、吸入マスク。何日か、点滴をして効き目が出れば、左半身・口周りの筋肉回復するかもしれない・・・と云われているけど・・・サアどうだか？

09／09

介護10日目、いささか疲れた・・・と言うよりも、こちらの体の調子も悪くなるような気分になってしまう。

昨日まで、絶食・絶飲、24時間点滴、シッコは膀胱から採取、水も飲めず・言葉もはっきりしない状態で、この2、3日かなり強い薬（・・・腎臓に障害が出るかもしれないという・・・）を点滴していたが、その成果が現れたのか、今日は相当元気・・・

言葉も、今迄は、しゃべっている言葉の1／4位しか分からなかったけど、今日は2／3位は理解できる位迄、回復した模様・・・しかも、しゃべる言葉の量も増えた、唯、ジョン（犬）の話やら、銀行の検査部の話やら、圭助は大学はどうした？だとか・・・まだ記憶がタイムスリップしている模様。午後から水が飲めるかどうかの検査・・・最初はスプーン1杯の水で、少しムセたけれど、ゼリー状の物だといいかもしれないと云うので、プリンを買ってきて食べさせたら、なんと自分でスプーンを使って、食べるは・食べるは、一気に食べてしまった。余程美味しかったみたい。その後、水を飲ませたら上手に飲め・・・一応試験に合格・・・本人も嬉しかったらしく、看護婦さんに「試験に合格した！！」と言って自慢していた。食後の歯磨き・ロブクブク・ペーッ・・・も上手に出来る。

調子がいいので、点滴も一時お休み、チンコのチューブも抜いて腰掛便器に座らせたらものすごいウンチとシッコ・・・余程オシメが駄目らし

い。・・唯、未だに自分でトイレに行こうとするのには弱る。せつかく自由の身になれたので、車椅子に乗せて皮膚科の検診に行く・・水虫の治療。

昨日の日曜日から大相撲も始まったのでテレビを見せてやる・・相撲については、ジイの方が詳しく、解説してもらう。

手を上げる・握る、指を動かす、足を上げる・・等の動作はとても上手に出来る、もう少し経てば、歩く訓練に入ると思う。明日の昼からは、お粥を食べさせよう・・と看護婦さんは言っている。問題は夜のベッドからの脱出（トイレに行こうとする・・）。

血液検査で腎臓に悪い影響は出ていない模様・・主治医も回復振りに喜んでいる。二人部屋の相方さん・・ジイと同じ脳梗塞による「嚥下障害」・・未だ70歳になってないけど・・総入れ歯を外しているのので可哀相な顔付き、付き添いの奥さんが、ウチのジイの回復振りにビックリ、又89歳なのに、しっかりした顔付き・話し振を見て、隣でビックリしている。

介護は、朝9時から午後1時迄と、午後1時から夕方6時までを、妹と交替で見ている。完全看護だからそんなに見なくてもいいのだろうけど、頑張れるだけ頑張ってみる。

今から思うと、定年9ヶ月前に思い切って退職を決意した理由が、ジ

イの面倒を見てやりたいのが一つの理由だったけど、何と言うタイミング・血が騒いだというか、神様のお引き合わせというか、不思議な啓示を感じます

唯、この度の入院は今までと違って相当のダメージで、たとえ退院しても介護には相当の覚悟が必要かと思われます。

09 / 11

ジイの昨夜の失踪騒ぎには、肝を冷やした。夜9時半頃、病院から電話・「小野田・市民・・・」と聞いただけで、目の前が真っ暗になった・てつきり緊急事態：「タクシーを使って、お宅に帰っていませんか？・・・」、緊急連絡先を、1秀明、2埴生（母）、3妹宅・・・にしていたので早速の連絡だった、ベッドから行方不明になったらしい、病院中大捜査の模様、早速車ぶっ飛ばして行く・・・道路に出て車に？・・・、病院の前の溝にでも落ちて？・・・、段差で転んで骨折でも・・・、それに、慌てた自分が病院に着く前に交通事故にでも・・・色んな想像が頭の中で交錯、妹にも連絡したので、同じ時間に二人とも到着、病院に着いたら異様な雰囲気・・・看護婦たちが走り回っている、3階に上がったらちょうど「いた、いた・・・」とジイ発見の知らせ、3階の廊下の一番端の一人部屋の病室のベッドに横になって寝ている、しかも自分のパジャマのズボンを脱いで物干しにちゃんと掛けてある、少し濡れている・・・シッコの様、一

同ホツと胸を撫で下ろす。怒ってもしようがないので、ゆっくり自分の部屋に連れて行く、良く考えてみると一人で歩いている、多分シッコをトイレでしたかったのだ……。睡眠薬を注射され、眠りについてもらう、可哀想。

後先生に呼ばれて別室へ……。てっきりお目玉を食らうと思ったら。先生の方から「大変御迷惑・御心配をお掛けしました……」と平謝り、それだけで済まなかったのか、病状の詳しい経過報告……。治療の効果が段々出て来て、自我・意識が明確になりつつあるので、悪い兆候ではない……。との説明、普通の痴呆の患者さんと違って、急速に元氣を取り戻しているとの事。痴呆によくある「徘徊」ではなく、どちらかといえば「トイレでシッコをしたい、家に帰りたい……」という自己主張の表れとのと。

昨日の昼から、病院食……。お粥＋おかず3皿（小さく刻んで、トロミをつけたもの）、ガツガツ食べる、焦って、口の中に入れ過ぎ（調節が良く効かない）なので、傍に付いて休みながら食べ、お茶を少し飲ませながら食べさせないとムセル、それに、左の口元の筋肉が良く効かないので、お汁が口から少し漏れる。だけど、段々上手に食べられるようになって、何よりも、残さず全部食べてくれるのには嬉しい、それに「あなたは食べんのかね?」……。とこちらの事まで心配してくれる。これで点滴も、あと1〜2日で終わる模様……。シッコも、歩けることが分かっ

たので、昼間はトイレに連れて行くと、ジャージと元氣・勢い良く出る・ひと安心。同じ症状の他の患者さんと比べると、比較にならない程、元氣でまとも・顔付きも神々しい程・

あと2〜3日後からリハビリを開始する・2週間位かかるらしい・サア頑張ろう 友香・圭助も、しっかり声援を送って下さい。

09／12

午後から主治医の回診検査、頭のテスト

お名前は・・○。お年は・・○。今日は何年何月何日何曜日ですか・平成14年？月？日、木曜日。（何日もベッドにいるのに分かる訳が無い、それにしても木曜日・何で分かったのだろう・・）。ここはどこですか？・・小野田？ 数字を言いますから反対から言って下さい6

25・・526○、 4728・・？

100から7を引いたらいくつですか・・93、93から7引いたらいくつですか・・86（すごい・・計算力・・友香ならここで挫折）、86から7引いたらいくつですか・・？

5つの品物を見せますから言って下さい・・鉛筆・鍵・時計・体温計・歯ブラシ。今の品物を全部隠して、今見た5つの品物を言って下さい・・鉛筆・時計・？・？

知っている野菜を10種類言って下さい・・大根・人参・葱・玉葱・・・・・軽度の痴呆だそうです。

次はリハビリの先生による体のテスト

左（右）手を上げて、右（左）足を上げて・・・難なく出来る。足首を動かして・・・合格。ジャンケンをしましょう・・・合格（特にチョキが出せるのはすばらしい・・・との事）目を瞑って・・・触ったこの指は何指ですか・・・全て合格。触った体の部分は・・・腿・肘・脛・・・全部合格。ベッドから起き上がって下さい・・・合格。立って下さい・・・少々弱い・・・全体的に非常によろしい・・・少しリハビリをすれば元気になりますよ。車椅子に乗せて館内の散歩・・・気分が少しは晴れるでしょう。

09／13

今日はとても元気。シッコ・・・と言うのでトイレに連れて行く、最初は車椅子で、次は手摺サークルで、リハビリの先生が、余り介助しなくても大丈夫ですよ・・・と言うので、歩かせたら十分歩ける（かえって普段使い慣れていないものだと、緊張するみたい）・・・今からはしっかり歩いてもらう。トイレの小便器に向かうのだけど、ゴワゴワのオシメをしているのでチンコ出すのが大変、出すまでに少しチビってしまった、小便器とチンコとの距離もとりにくい。自分でしっかり歩く、唯、自分の部屋がどうも分かり辛い。・・・これがこの前の失踪事件の原因。

それにしても早くオシメみたいなもの取れればいい・・・もう不要なは

ずだが・

夕方、初めてのリハビリ開始、両側手摺平行棒の間を歩く訓練・手摺も持たず、スタスタ歩くので先生びっくり、土・日・月曜日が3連休（リハビリ休み）なので、適当に廊下で歩かせて下さいとの事。

その後、石鹸・シャンプー・タオル・バスタオルを持って初めての入浴、看護婦さん付き添いだったけど、自分でタオルを使って背中も上手に擦ったらしい。看護婦さんびっくり。ベッドから離れて、気分転換したせいか、顔色・顔付きもいい。

6時の夕食が来ると、ベッドから降りて僕の椅子に座る？ 半日介護で、すっかり腰が痛くなるので今日、背付き・肘付きのパイプ椅子を買った・・2950円位覚悟していたら、850円だったのでラッキー！！これでゆっくり本も読める、少し居眠りも出来る・・椅子に座って何を言うかと思えば・・「ワシはいらんから、あんた食べなさい・・」と言って僕にベッドに上がれと言う？ ベッドの上ではなく、椅子に座って食べると、ムせる事も無く、スムーズに食べた、明日はテーブルも買って行こう。何はともあれ、栄養のある食事を残さず全部食べてくれるのが一番有難い。食事を良く食べるので、点滴も今日から取り止め、薬は食後の錠剤

朝食後

バイアスピリン・・血液をサラサラにし、血栓出来難くする（胃によく

無いので胃薬併）（特に強い薬パナルジンはもう使わなくていい）

ラニラピット・・・心臓を強くする（強心剤）

ラシックス・・・利尿剤（心臓に水が溜まるのを防ぎ、ムクミを防ぐ）

ガスター・・・胃薬、アリセプト、グラマリール・・・痴呆予防の薬　タ

食後・・・グラマリール＋ガスター

看護婦の判断で夜の睡眠薬　アモバン（夜自分でトイレが出来るようになればいい）

今後気を付ける事・・・血圧のコントロールに注意して下さい・・・毎日
同じ時間に血圧を測定（退院してからの話）